

4 宝探しをするように 特別な一冊を見つけてください



上段の本は同じものが下段にあるので、小さい子どもも手に取れます。



「あかちゃんの森」コーナー。引き出しの中にも絵本が入っています。

建築家の安藤忠雄さんの「未来を担う子どもたちに、多くの本と出会い、命の大切さを学び、豊かな感性や想像力を育んでもらいたい」との思いから、今年3月に誕生した施設です。神戸にちなみ、震災関連の本や多言語の絵本などもそろえています。貸し出しはしていませんが、音読や読み聞かせは構いませんし、屋外のウッドデッキや隣接する東遊園地内であれば持ち出しも可能です。階段下の狭い空間には洞窟に関する本が置いてあったり、本棚の一角にくぐれるゲートがあったりと、大人でもワクワクするような空間で、宝探しをするように、お気に入りの一冊を見つけてください。(こども本の森 神戸館長 森川美紀子さん)

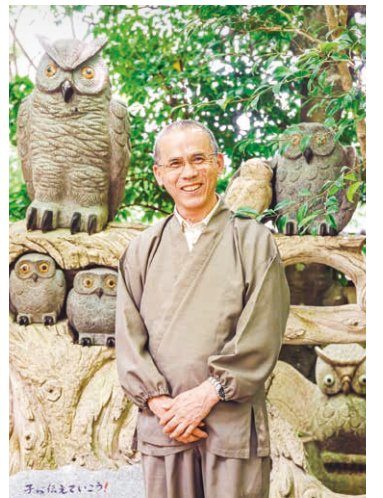
こども本の森 神戸
 神戸市中央区加納町6-1-1 ☎078-325-1125 ☎078-325-1126
 こども本の森神戸 ※入館は要予約

入館予約は
 こちら



5 緑あふれる境内で 3,000個の風鈴が涼を運びます

光明寺では2015(平成27)年から、境内にガラス製の風鈴を並べて「風鈴まつり」を開催しています。地域の活性化のため、宿場町・平福の家並みや道の駅に続く観光スポットになればとの思いで始めました。客足が急増したのは5年目の19年に、参拝された方がSNSに境内の写真を掲載してから。木漏れ日に風鈴がキラキラと光る風景が反響を呼び、翌年には多くのメディアにも取り上げられました。風鈴の奉納を希望される方には400円で購入し、短冊に願い事を書いていただきます。それを私が祈願し、本堂の軒下につるします。年々風鈴は増え続け、今では3,000個になりました。暑い日が続きますが、涼しげな音色に耳を傾け、明日への活力を養っていただけるとうれしいですね。(光明寺住職 井上隆快さん)



「気軽に越してください」と井上住職。「不苦勞」にあやかりフクロウの石像もたくさんあります。



お絵描きができる素焼きタイプもあります。

光明寺 風鈴まつり
 9月11日⑨まで9時～16時(入山無料)
 佐用町平福149 ☎0790-83-2646 ☎0790-83-2656 佐用 光明寺

なぜ?何?どうなった? ?

～読者の皆さんの疑問に答えます～

尼崎市・てるばぁと愛猫フィグさんからの質問

なぜ、丹波と淡路の自動車は神戸ナンバーで、但馬は姫路ナンバーなのですか。また、昔は兵庫ナンバーがあったと聞きました。

▶神戸運輸監理部兵庫陸運部に聞きました

もともと県全域が「兵」ナンバーでした。しかし、1960年代に入り自動車が増えると現在の兵庫陸運部(神戸市東灘区)で全台数を管理するのが難しくなり、65(昭和40)年の姫路自動車検査登録事務所開所を機に、地域の東半分が神戸ナンバー、西半分が姫路ナンバーに分かれました。現在、神戸ナンバーが約122万台、姫路ナンバーが約55万6,000台、そして兵ナンバーが99台登録されています。



1966(昭和41)年に撮影された「兵」ナンバー。

皆さんの疑問を募集しています!

日頃感じている、兵庫県にまつわる謎や疑問をお寄せください。本紙編集部が全力で調査します。

宛先 e-ひょうご④応募フォームから県広報広聴課「広報紙なぜ?何?どうなった?」係へ。

※投稿を基に内容を編集する場合があります。また、必ず掲載されるとは限りません

投稿は
 こちら

